

発生日	国名	種別	概要
2024年 4月3日	台湾	落石	4月3日午前8時、マグニチュード (M) 7.4の地震が台湾の花蓮 (Hualien) 県花蓮市の南15kmで発生し、少なくとも18人の死者と1,145人の負傷、また442人が道路の寸断等で孤立した。その後もM6.0を超える余震が3回続いた。太魯閣国立公園 (Taroko National Park) では、落石により10人のハイカーが犠牲となった。中央クロスアイランドハイウェイ (Central Cross-Island Highway) とスファハイウェイ (Suhua Highway) 沿いでは5人、シウリン (Xiulin) の鉱山地域では2人が落石で死亡した。
4月14日	アフガニスタン	土石流	4月14日にアフガニスタン政府災害管理局は、12日以降、3日間に及ぶ豪雨により洪水と土石流が発生し、少なくとも33人が死亡、27人が負傷、経済的にも大きな損失を受けたと発表した。さらに約600軒の家屋が損壊、200頭の家畜が死に、約600kmの道路が破壊され、約800haの農地が浸水したと報告した。
4月29日	ケニア	土石流	ケニア西部リフトバレー (Rift Valley) 州で4月29日未明、豪雨でせき止め湖が決壊し、土石流となりカムチリ (Kamuchiri) 村を襲った。村では木々が根こそぎ倒され、車両や民家が押し流され、少なくとも46人が死亡したと現地当局が報じた。決壊したのは英植民地時代の鉄道建設の後、数十年かけて自然形成されたせき止め湖で、同州ナクル (Nakuru) 郡マイマヒウ (Mai Mahiu) 近くのオールドキジャベ (Old Kijabe) ダム。
4月29日	ブラジル	地すべり 土石流	4月29日から5月4日にかけてブラジルのリオグランデ・ド・スル (Rio Grande do Sul) 州で1,000mm以上の降雨があり、洪水、地すべり、土石流が発生し、同州史上最悪の災害となった。この災害は合計2,398,255人に影響を与え、806人の負傷者と175人の死亡が確認された。また、422,753人が避難を余儀なくされ、そのうち16,128人が、その後1ヶ月間に仮設避難所で生活することとなった。
5月11日	インドネシア	土石流 火山泥流	インドネシア西部、スマトラ島で5月11日、大雨による土石流と火山泥流 (Cold Lava flow) が発生し、マラピ (Marapi) 山に堆積していた火山灰や岩石を巻き込み、住宅地に流れ込んだ。この災害で少なくとも62人の死亡が確認され、25人が行方不明となった。インドネシアの救助当局によると、12日午後までに、最も被害の大きかったアガム (Agam) 県カンドゥアン (Canduang) 村で19人、隣接するタナ・ダタル (Tanah Datar) 県で9人の遺体が確認された。両県合わせて民家100棟以上とモスク、公共施設などを損壊した。
5月24日	パプアニューギニア	地すべり	5月24日未明、パプアニューギニアのエンガ (Enga) 州で発生した大規模な地すべりについて、国際移住機関 (IOM) は、崩落したムンガロ山 (Mount Mungalo) の土砂が、ヤンバリ (Yambali) 村とカオカラム (Kaokalam) 村の150棟以上の家屋を埋め、死者は670人を超えるとの見方を示した。その後も地盤は少しずつ動いており、救助隊にも生存者にも危険な状態と報じた。また、災害対策当局は、この災害で2,000人以上が生き埋めになった恐れがあると国連 (UN) に報告した。
6月13日	インド ネパール	土石流 地すべり	6月13日、豪雨の後、インドとネパールに跨るヒマラヤ地域で土石流と地すべりが発生し、インド北東部のシッキム (Sikkim) 州で6人が死亡、5人が行方不明となった。また、4人が隣国のネパールのコシ (Koshi) 州で地すべりにより死亡した。
7月7日	インドネシア	地すべり	7月7日、インドネシアのスラウェシ (Sulawesi) 島ゴロンタロ (Gorontalo) 州がネ・ボランゴ (Bone Bolango) 地域にある違法金鉱山で、大雨による地すべりが発生し、23人が死亡した。さらに地元当局は、18人が救出されたが、33人が行方不明と発表した。ゴロンタロ捜索救助局によると、近隣の多くの村人が狭く危険な坑道で採掘中に、地すべりの犠牲になった。
7月12日	ネパール	地すべり	ネパール中部チトワン (Chitwan) 地区で7月12日早朝、地すべりが発生し、巻き込まれたバス2台が、連日のモンスーン豪雨により増水したトリシュリ (Trishuli) 川に転落し、そのまま流された。3人が救助されたものの、乗客ら合わせて60人以上が行方不明となった。災害は、カトマンズ (kathmandu) の西約120kmのシマルタル (Simaltal) 近くで、カトマンズと南部を結ぶ主要な高速道路を走行中の午前3時ごろに発生した。また、事故が起きた現場は山岳地帯にあり、道路の寸断などで救助隊の活動は難航した。近くでは、落石が別のバスを直撃し、1人が死亡した。
7月19日	中国	土石流	中国北西部・陝西 (Shaanxi) 省商洛 (Shangluo) 市で19日夜、豪雨による土石流で高速道路の橋の一部が崩落し、通行していた車両が川に落ち流される事故が発生した。20日午前までに川に転落した車7台が見つかり、12人の死亡が確認されたほか、18台が巻き込まれており、31人が行方不明と国営中央テレビが報じた。

発生日	国名	種別	概要
7月20日	中国	土石流	豪雨が続き中国南西部・四川 (Sichuan) 省漢源 (Hanyuan) 県で、7月20日午前2時30分ごろ発生した土石流が新華 (Xinhua) 村を襲った。住宅40戸が被害を受け、8人が死亡、30人以上が行方不明となった。
7月21日	エチオピア	地すべり	東アフリカ、エチオピア南部のゴファ (Gofa) で7月21日から22日にかけて、2度の地すべりが発生し、24日までに子どもや妊婦、警察官を含む少なくとも229人の死亡が確認された。
7月28日	中国	地すべり	台風3号 (ケーミー GAEMI) の継続的な豪雨により、中国南部・湖南 (Hunan) 省衡陽 (Hengyang) 市で、28日早朝に発生した地すべりで、12人が犠牲となり、6人が負傷した。また、吉林 (Jilin) 省臨江 (Linjiang) 市では、副市長を含む2人の職員が、洪水救助活動中に行方不明になった。新華社通信は、この台風により台湾、フィリピンでも数十人の犠牲を出し、福建 (Fujian) 省の約63万人に影響を与えたと報じた。
7月30日	インド	地すべり	7月30日の早朝、インド南部のケララ (Kerala) 州の丘陵地帯のワヤナード (Wayanad) 地区で、豪雨による大規模な地すべりが発生した。警察は少なくとも277人が死亡、200人以上が行方不明となり、その多くが紅茶農園で働く季節労働者とその家族とみられると報じた。ワヤナード地区に隣接するマラプラム (Malappuram) 地区に流れ込むチャリヤール (Chaliyar) 川でも16人の遺体が発見された。
8月3日	中国	土石流 地すべり	8月3日午前3時半ごろ、中国中南部・四川 (Sichuan) 省で降り続いた大雨により、土石流や地すべりが発生した。4日に、四川省カンゼ・チベット族自治 (Garze Tibetan Autonomous) 州康定 (Kangding) 市リディ (Ridi) 村で、8人の死亡、19人の行方不明、多くの家屋の倒壊と939人の被災が明らかになった。
8月5日	エチオピア	地すべり	8月5日、エチオピア南部のウォライタ (Wolaita) 地域で、豪雨による地すべりが発生し、少なくとも13人が死亡した。ウォライタの地区長は、大規模な地すべり再発の可能性が高いため、キンド・ディダイエ (Kindo Didaye) 地区から300人以上が避難したと述べた。
8月23日	タイ	地すべり	8月23日にタイのリゾート地プーケット (Phuket) 島で発生した地すべりで、ロシア人夫婦とミャンマーからの出稼ぎ労働者9人を含む13人が死亡したと、当局は25日に発表した。前の週から続く大雨は、大仏 (Big Buddha) を含む人気の観光地の近くで地すべりを引き起こした。死者13人に加え、約20人が負傷し、209世帯が被災した。
8月28日	イエメン	地すべり 土石流	イエメンのフーシ (Houthis) 派が運営するAl-Masirah TVや地元メディアは、数時間に及ぶ集中豪雨で地すべりと土石流が同国高地一帯を襲い、少なくとも33人が死亡したと28日に報じた。マウイト (Mahweet) 州のメルハン (Melhan) 地区アル・ラヘフ (Al-Lahef) 村では、丘の上のダムが崩壊し土石流を引き起こし、20人の家族全員を含む33人が死亡、約200棟の家屋が損壊した。
9月7日	ベトナム	地すべり	9月7日に上陸した台風11号 (ヤギ Yagi) の豪雨により、西北部地方ラオカイ (Lao Cai) 省で地すべりが相次いで発生し、12日午前9時の時点で88人が死亡、85人が行方不明となり、70人が負傷した。今年アジアで最も強力な台風Yagiは、ラオス、中国の海南島、フィリピンを襲い、すでに壊滅的な被害をもたらし、ベトナムも含め少なくとも287人が死亡したと報じられた。また、ベトナムの次に襲ったミャンマーでも約220人の死者を出した。
9月27日	ネパール	地すべり	ネパールの中央部と東部で、26日に始まった豪雨により発生した洪水と地すべりの死者は、30日の内務省発表によると217人に達した。災害は複数の州に及び、少なくとも28人が行方不明となり、数千人が避難を余儀なくされた。カトマンズの西、ダディン (Dhading) 地区のトリブバン・ラージパス (Tribhuvan Rajpath) 沿いで、27日に起きたジャブレコラ (Jhyaplekhola) 地すべりでは、バス等少なくとも3台の車両が埋まり、29日までに救助隊が35人の遺体を回収した。
9月30日	イラン	土石流	9月30日にイラン南部の都市ジロフト (Jiroft) を襲った土石流により、同国在住のアフガニスタン国籍の15人が死亡したと国営メディアが10月1日に報じた。過去10年間、干ばつが繰り返し発生しているイランで、乾燥地帯のケルマーン (Kerman) 州南部にジロフトは位置しており、乾燥した大地への豪雨は定期的に洪水も発生させている。